

## 「新型ホームドアに対応する視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法 に関する調査検討委員会」の設置について

### 1. 趣旨

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会や、高齢化の進展、障害者数の増加等により、今後、更に多くの視覚障害者等の情報取得に制約のある者が公共交通機関を利用することが見込まれている。

こうした中、鉄道駅のプラットホームについては、車両の旅客用乗降位置が一定で、車両を自動的に一定の位置に停止させることができる場合については、視覚障害者誘導用ブロックの敷設と共にホームドアの設置が進められてきたところである。近年では、車両の旅客用乗降位置が一定でなくとも設置可能な新型のホームドアの開発も様々行われている。しかし、こうした新型ホームドアについては、対応する視覚障害者誘導用ブロックの敷設といった、視覚障害者への誘導案内の方法が確立されていないのが現状である。

このため、「新型ホームドアに対応する視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法に関する調査検討委員会」を設置し、新型ホームドアに対応する視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法のあり方の検討を行うこととする。

### 2. 委員会構成（資料 1 参照）

○構成員：学識経験者、障害者団体等、公共交通事業者、  
国土交通省関係課

○事務局：国土交通省 総合政策局 安心生活政策課、(株)JTB総合研究所

### 3. 調査検討内容

○新型ホームドアに対応した視覚障害者の誘導案内に係る課題の把握

○新型ホームドアに対応する視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法の検討 等

### 4. 検討スケジュール

委員会は2回

・第1回検討会：平成29年 1月6日

・第2回検討会：平成29年 3月10日（予定）

（その他、必要に応じて別途ワーキンググループを開催し協議を行う）

以上